

プレスリリース [令和3年11月26日]

(計1枚)

加賀市はデジタルを活用したデータに基づく効率的な交通体系を実現するため、MaaS Tech Japan 及びヴァル研究所と協定を締結し、MaaS を活用した交通版 EBPM による公共交通の改善に取り組めます。

加賀市は、少子高齢化による利用者の減少や、拠点の分散による効率的な交通体系を改善するツールとして MaaS の導入を進めており、本年度内に加賀 MaaS アプリをサービス化する予定です。

サービス導入を機に、MaaS アプリケーションおよびデータ基盤を核として、MaaS アプリおよびモビリティサービスの開発により質の高い住民サービスの提供できるように交通版 EBPM^{*}を推進していきます。

この目的において、下記の協定を締結いたしますので、ぜひご取材をいただきたくご案内申し上げます。

記

(日時) 令和3年11月29日(月) 11:00~11:30

(会場) 加賀市役所2階 秘書課 第1応接室

(協定の名称) MaaS を活用した住民向けモビリティサービスと交通版 EBPM の実現に向けた連携協定

(出席者) 加賀市長 宮元 陸
株式会社 MaaS Tech Japan 代表取締役 日高 洋祐
株式会社ヴァル研究所 代表取締役 菊池 宗史

^{*}交通版 EBPM は EBPM 「証拠に基づく政策立案」(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキングの略) の考え方を公共交通に活かして、データに基づいて効率的かつ効果的に公共交通を改善していくことです。豊富なデジタルデータを活用して、交通以外の産業や教育における満足度等にも波及する交通体系を目指します。

本件へのお問合せ先
加賀市政策戦略部スマートシティ課 担当：国立 TEL 0761-72-7826